

バリアフリー演劇、
みんなで楽しんでできました！



● 特集 『共に生きる、みんなで楽しむということ』

● いつまでも元気会、十五夜 他
〈ゆうかり学園〉

● 園外保育、親子レクリエーション 他
〈ゆうかり保育園〉

● 新しい活動、クッキング 他
〈地域生活支援拠点ゆうかり〉



特集ページ



共に生きる、みんなで楽しむということ

◇Mm PROJECTに参加しました

福祉tvさんの主催で、「みんなではじめよう!明日からできる障害者コミュニケーション」をテーマに、企業や障害者福祉施設での、“ちょっとした「福祉につながる」気遣いや工夫”を学ぶことができるセミナー『Mm PROJECT for Welfare 鹿児島市セミナー』が2024年10月30日、ライカイチキューニーマル(鹿児島県鹿児島市中央町940)にて開催されました。

【Mm PROJECT for Welfare 鹿児島市セミナー登壇者】

鹿児島市健康福祉局 局長: 福島 宏子 氏

社会福祉法人 ゆうかり 理事長: 水流 源彦

株式会社丸屋本社 マルヤガーデンズ 事業部
広報室長: 松見 千種 氏

(進行役) ジャパンソーシャルデザイン株式会社
代表取締役: 羽室 吉隆 氏

登壇者の一人として、「障害をもつ人」「障害のある人」の表現の違いについてお話させていただきました。

ICFにおける、社会モデル。たとえば「障害をもつ」は医学モデル。「障害がある」は社会の側に障害がある、という意味での社会モデル。階段の段差があり、車椅子が移動



できないのは社会の問題、と捉えるということ。段差をスロープ設置で解消、エレベーター設置はもっといい。一方で、スロープやエレベーターってベビーカーを押すパパ、ママにとってもラクチン、宅配便のお仕事もラクチン。障害のある人のため、ではなく、みんなのため。というお話。当法人が保育園をはじめた理由も、同じこと。小さいころから、差別や偏見に対して、原風景、原体験をもって、もともとなかったことにできないか、という社会的実験。とってわかりやすい事例としてのバリアフリー演劇。Nothing about us without us (私たちのことを私たち抜きに決めないで)

このことは、ゆうかりの利用者すべての声だということ、再認識する時間となりました。

◇バリアフリー演劇、鹿児島で3回目

10月26日(土)には西原商会アリーナのサブアリーナにて東京演劇集団風によるバリアフリー演劇ジャンヌ・ダルク〜ジャンヌと炎 いま、ひとりの少女が声をあげた〜の公演が



ありました。今年も権藤説子さんによるプレゼント。250名の参加がありました。ゆうかり学園、地域生活支援拠点ゆうかりからも総勢40名で観劇しました。

劇団関係者からの言葉を借りると〜

学校公演等で先生方が「この子はいつもはこういう様子なのに今日はなんだかこういう様子だ!」と驚きを持って伝えてくださることがあるが、グループホームの利用者さんたちの客席での、何かを捉えている姿に先生方と同じものを感じた。文化芸術、演劇の力、解放されるものとか、正直よく分からない言葉にできないが、どんな「あなた」も何かを感じていて、感じたままにすることができて、一人ひとりが誰かや何かに対してそれぞれの形でそうあれば、とてつもないものが生まれ、出来上がるということは確かなのだ。この社会の秩序の中での日常だってそうなのだと思う。

〜今回も、多くの聴覚障害の方、車椅子を利用されている方、そして、ゆうかりの皆さんをはじめとした、みんなで楽しむことができました。友人のろう者のお母さま、寝ちゃうかもと思ってたけど、さいごまで、本当に感動した、と感想を送ってくれました。

私たちの日々の支援、保育、それらはすべて、この社会をよくするために、すべての人たちが共に生きることに繋がっている、と実感できるひとときです。



夏を満喫中



自然と笑みがでちゃう!



頬つべた落ちそう



大好きなブランコです!



ほろ酔いました!



とっても、ご満悦♪



だって好きなんですもの



今日も仲良し



すくすく育ちます私だって



ひまわりと私



いつだって楽しいもんだね



頑張るぞ、運動会!



いつまでも元気会(敬老会)



太鼓練習中



瑞宝太鼓の皆さんがきてくれました

いつまでも元気会

9月16日に75歳以上の利用者さんをお祝いする『いつまでも元気会』を開催しました。今年は余興として“あまみ袖人(つむぎんちゅ)”のお二人をお招きし、島唄などを中心に会場を盛り上げて頂きました。久しぶりに食べて、飲んで、歌ってと以前のような活気が戻ってきたな、と感じる事が出来ました。また、コロナ禍により皆様が集まる行事が減っていた中で今回、開催する事ができ企画した私たちも思い出に残る1日となりました。

writer: 蒲生原 歩

十五夜

9月17日、中秋の名月を鑑賞する「十五夜」。夕食を園庭で食べ、炭坑節を踊り花火をし、少し涼しくなった季節の移り変わりを、みんなで感じることができました。昔の十五夜を思い出して語り合っているうちに、『ちょっとやってみよう』と綱引きを行ない、勝っても負けても笑いがあるひと時を過ごしました。

writer: 山口 賢司



7月23日 ブルーベリー狩り



慎重に慎重に…



美味しい〜!



おやつも美味しいね♪



8月21日 園内夏祭り



オバQ音頭踊ったよ♪



たくさん釣れたよ



ほくはこれにする!



9月21日 親子レクリエーション



かえるの体操♪



よーい!どん!



借り物競争もしたよ



CHU-LIPの恋模様〜♪



ポーズと一緒にキュン



真剣勝負です



最後まで頑張ったね☆

楽しかった園外保育

7月。ゆうかり学園の果樹園でブルーベリー狩りを楽しんだのは、うめ組の子ども達13人です。慣れない手つきで力加減を工夫しながら、一粒ずつ大切にカップに詰める小さな手。「こっちは甘いね。こっちはすっぱいね。」と、美味しそうにはおぼる笑顔が印象的でした。ブルーベリーの花言葉の一つ「おもしろい」。途中、学園の方々が子ども達に親切にしてくださるひと時もありました。素敵な思い出となりました。

writer: 山下 朋子

親子レクリエーション

9月にふれあいスポーツランドで親子レクリエーションを行いました。子ども達は暑い中毎日練習を重ね、本番ではお母さんやお父さんと楽しく取り組む姿が見られました。微笑ましい光景に見ているこちら嬉しい気持ちになりました。去年よりもさらに成長した子ども達の姿をみることができ、成長の早さに驚きながらも、感動いっぱいの一日となりました。また来年の子ども達の成長が楽しみです。

writer: 徳田 理沙



レッツ!!ダンス



難しいけど楽しい〜☆彡



初めてのダンス活動少し緊張



音楽に合わせて手拍子



楽しくダンシング〜^v^



おまけ 9月制作物の壁画

巻きずしをつくるには
まずは格好から

崩れないよう、集中!



自分で作ったお寿司はおいしいな



フルーツをしっかり分けないと



ソーダをゆっくり入れます



団子を丸めるぞ



ちょっと味見を…



出来立て団子、おいしい

新しい活動とみんなの笑顔

10月より新しい活動としてダンスを取り入れてみました。元々リズム体操などは楽しまれて参加される方が多く、音楽に合わせて体を動かすダンスは皆様に合わせて笑顔で参加して下さる方が多かったです。今後も継続してダンスの練習を行っていき、発表会などに出る等の目標も出来たら楽しみが増えるかもしれません。新たな活動をみんなで楽しみながら継続していければと思います。

writer: 溝下 壮太郎

クッキング

利用者さんから活動のリクエストで、ぱずてるの活動や土曜開所でクッキングを行いました。7月の巻き寿司づくりでは、職人さんの作り方を見て、一人ひとり職人さんから教えてもらいながら実際に丸めて作られていました。9月9日のフルーツポンチでは、バナナを切ったりサイダーを入れたりとする工程のほとんどを利用者さんたちにしていただきました。9月14日の月見団子はさつま芋を混ぜて喉に引っかからない団子を作られました。久しぶりのクッキングを皆さん楽しんでいました。 writer: 古下 希



研修報告 令和6年度 クリエイティブ研修会 入門編

9月6日に行われたクリエイティブ研修会に参加させていただきました。研修の目的は、新しいアイデアを生み出す為の創造力を身につける事を目的とした研修会でした。研修は「写真の基礎とテクニック」、「利用者と生み出すアート制作」、「動画作成の基礎と面白さ」の3部構成で行われ、どれも普段の日中活動に繋がる内容で勉強になりました。私たちが持つ固定観念が利用者の方々に当てはまるとは限らず、作品制作の足枷になっている事もあるのではと考えさせられ、またそれぞれが出来る事を見極める事で様々な作品制作への可能性が生まれていくと教えていただきました。写真作品の作成や動画の制作は現在の活動では取り入れて

いない内容ではありましたが、今後始める新たな活動の候補としては面白いのではないかと思いました。写真も取り方一つでアートに変わり、動画は思いや考えている事を形にして伝えることができる手法の一つです。今後は研修で学ばせていただいた事を生かして、固定観念にとらわれない自由なアート作品をみんなで作って行けたらと思います。



writer: 溝下 壮太郎

お悔み



Hさん (S15生まれ)

昭和四二年に入所され、畜産班や果樹班で元気に活躍されました。毎朝、誰よりも元気に笑顔で挨拶を下さったことを、まるで昨日のこのように思い出されます。職員への気遣いで、車両の後進を見ながら「オーライ！オーライ！」といつも声掛けをして下さいました。普段からニコニコ過ごしていたHさんの笑顔に、みんな癒されていました。在りし日の姿を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

長寿祝い おめでとうございます！



喜寿
Sさん
S22生まれ



喜寿
Sさん
S22生まれ



古希
Uさん
S29生まれ



古希
Hさん
S29生まれ



還暦
Iさん
S39生まれ



還暦
Iさん
S39生まれ



還暦
Tさん
S39生まれ

新入社員 よろしくお願ひします

ゆうかり保育園 栄養士／東園 愛花

「デンチャーブラシ開発から気づけた障害福祉の世界」

歯科技工所アジャスト代表 技工士 福留博文

歯科技工所アジャスト代表の技工士福留博文と申します。

歯科技工士が直接社会福祉法人と関わることはあまりありませんが、デンチャーブラシを開発したことにより福祉の世界を知る事が出来ました。お伝えしたいことはいっぱいありますが、今回は入れ歯のお手入れやその効果について皆様にお伝えしたいと思います。

デンチャーブラシ開発の想い

デンチャーブラシとは何かご存じですか？簡単にいうと、入れ歯を磨くための歯ブラシです。入れ歯を持ちながらブラシで磨くため、両手を使用することが不可欠です。入れ歯を磨くことは、正しい入れ歯のお手入れにおいて一番重要です。十数年前に片麻痺のAさんとデイケア知り合いました。その方は入れ歯を床においてブラシで磨いていました。片手で簡単に洗え、お手入れも一人でできるデンチャーブラシを作らなければとの想いから試行錯誤のうえ、10年かけてデンチャーブラシが完成しました。すぐさまAさんに使用して頂くと自分一人で入れ歯がきれいに磨けると涙をながして喜んでいただきました。その光景は、今も私の支えとなっています。



プロフィール

社会福祉法人ゆうかり 評議員
有限会社アジャスト 代表取締役社長
福留 博文

普及活動の中で高齢者施設や障害者施設、地域イベント、今回の社会福祉法人ゆうかり様と出会いなど技工士として普段接することがあまりない世界をみる事ができました。そしてあることに気づきました。

周知されていない入れ歯のお手入れ方法

デンチャーブラシを通し、セミナーなど様々な活動を通じて、正しい入れ歯のお手入れ方法を知らない人が多いことにびっくりしました。

入れ歯のお手入れで一番重要なことは何でしょうか？

「洗浄剤に毎日つけること」と回答する人が圧倒的です。ブラッシングはというと「たまに行えばいい、洗浄剤の補足的なものだ」と回答します。実は、入れ歯のお手入れはブラッシングが一番需要です。洗浄剤につける前はもちろんのこと、洗浄剤につけた後に汚れの塊であるヌメリをとるためのブラッシングが必要です。

ブラッシング→洗浄剤→ブラッシングが入れ歯の正しいお手入れなのです。

デンチャーブラシを通じて、健康な生活を送れる世界へ

デンチャーブラシの活動を通じて、正しいお手入れを指導した人の中には、口の中がさっぱりする、ご飯をおいしく感じるといったお声をいただくことが多くあります。また、すべての要因ではありませんが熱などの病気になりづらくなったというお声をいただくこともあります。

歯科の業界において、口腔内を清潔に保つことにより、誤嚥性肺炎等の病気の予防やおいしくご飯を食べられること等QOLの向上の推進しております。

デンチャーブラシを通じ、入れ歯を清潔に保つ、すなわち口腔内を清潔な状態に保つことで、皆様の健康やQOLの向上することに少しでも貢献できるよう様々な業界、分野と関わり合い活動したいと思っております。



10月 元気な声が小学校や中学校から聞こえて来て、少しのぞいてみると運動会の練習が行われていました。あーもうそんな時期だなーと感じていると、すぐに年末が近づいてきました。今年も色々な事を利用者の皆様と楽しんだ事を思い返しています。特に今年の10月は活動で近くの公園にて運動会を開いたり、演劇の鑑賞に行ったりと運動に芸術に様々な事を楽しんだ秋でした。来年も利用者の皆様と色々な思い出を一緒に作っていきたいです。



writer: 溝下 壮太郎

= Event =

🏠 ご家族も参加いただけます 🌐 地域の方々も参加いただけます

	ゆうかり学園	ゆうかり保育園	地域生活支援拠点ゆうかり
12月	クリスマス会 誕生者外出 25日～1月4日 冬季休暇	6日 防犯教室 15日 発表会（鹿児島国際大学） 18日 避難訓練 24日 クリスマス会	誕生会 クリスマス会
1月	新年会 誕生者外出	8日 避難訓練 15日 食育・クッキング	誕生会 新成人を祝う会
2月	誕生者外出	3日 節分・豆まき 12日 避難訓練 19日 食育・クッキング	誕生会 避難訓練

発行責任者 理事長 水流 源彦
ブリッジ編集委員会 宇都 大作・塚田 詞子（ゆうかり学園） 甲斐 静華（ゆうかり保育園）
溝下 壮太郎・古下 希（地域生活支援拠点ゆうかり）

ゆうかり学園 〒891-1201 鹿児島市岡之原町1005番地 TEL 099-243-0535 FAX 099-243-0520
ゆうかり保育園 〒891-0116 鹿児島市上福元町5828番地 TEL 099-263-1775 FAX 099-263-1776
地域生活支援拠点 ゆうかり 〒890-0014 鹿児島市草牟田1丁目8-7 TEL 099-813-7183 FAX 099-813-7176

